

経営体育成支援事業成果目標の達成状況等について
(平成27年度融資主体補助型(平成26年度本省繰越分))

平成27年度に事業を実施した7地区(継続評価地区※)の成果目標に係る平成30年度の達成状況は以下のとおりです。

(単位:経営体、%)

成果目標項目	目標年度 (29年度)	目標達成状況 (上段:計画、下段:実績)		平成28年度 の達成 状況 (%)
		28年度		
必須 目標	① 経営面積の拡大	20	20 17	85.0%
	② 農業の6次産業化	3	3 3	100.0%
	③ 農産物の高付加価値化	10	10 6	60.0%
	④ 経営コストの縮減			
選択 目標	⑤ 耕作放棄地の解消	2	2 1	50.0%
	⑥ 農業経営の複合化			
	⑦ 農業経営の法人化			
	⑧ 雇用	1	1 1	100.0%

◆達成状況に関する本県の対応

継続評価地区の4年度目において、事業を実施した7地区のうち、2地区が目標達成、5地区が目標未達成となった。

目標未達成の要因は、

- ①経営面積の拡大・・・適切な農地が見つけられなかったこと、貸し手との調整がつかなかったこと
- ②農産物の高付加価値化・・・夏の高温障害をはじめとした天候不順により品質が低下したこと
- ③耕作放棄地の解消・・・借り入れ可能な耕作放棄地が見つからなかったこと

今後の対応策は、

- ①経営面積の拡大・・・農地中間管理事業の活用や関係者の指導により、経営面積の拡大を進める。

また、交渉中である売買により経営面積の拡大を進める。

- ②農産物の高付加価値化・・・農業改良普及課等の関係機関からの有機資材の施用や適期防除等の栽培管理指導を行うと共に、地域に適した品種の比率を上げるなどの対策を実施する。
- ③耕作放棄地の解消・・・農地中間管理機構の活用等により借り入れ可能な農地を見つける。

県としても、早期に目標を達成し、事業効果が発現できるよう、適宜、進捗状況を確認していく。

※目標年度(平成29年度)に未達成となり、目標年度経過後も継続して事業評価を実施する地区。